



湖は日々変化し、時間単位で見ても刻々と変化を続ける。毎日見ても飽きないのはそんな自然の変化を肌で感じる事ができるからだと思う。昨日までたくさん見れたクワガタが一気に消えたり、エビの赤ちゃんがいきなり現れたり。自然はいつも突然変化する。



ファミリーカヌー開催地は千歳川源流部。
大雨が降ってもほとんど濁らないこの場所。
色々なドラマがあったな～と夏を振り返る。



夏の振り返り

あつという間に7・8月が終わりました。

結局支笏湖は今年も30度を超える日は1度も無く、28度くらいまで気温が上がる時、私松澤は死にそうになつていました。

ゲストに「暑いですね～」というと「いやいや・・・涼しいでしょ！」と言われ、その度に「暑い所では暮らせないな・・・」と思う日々。

今年も色々な方がお越しになり毎日が楽しかったです。ひっくり返つてしまつた人、メガネを落としてしまつた人、カメラを落としてしまつた人、日帰りで東京から来た人、スーツで来た人、ギターを持ってきた人、そして大はしやぎしていた子供達。

ガイド側の私たちもそれぞれに思い出に残っています。9月中旬になると季節は秋、数も多く青々としていた水草は枯れ、魚やエビ達も姿を消します。水辺は全体的に静かになり「子供の笑い声」は「風で木の葉が落ちる音」に変わります。

昨年の紅葉のピークは10月中旬ごろ。

その時期に台風や大荒れの日があると葉が一気に落ちてしまふのでできれば10月は穏やかであつてほしいです。昨年も大荒れで早くから紅葉してしまつた木の葉は一度強風で吹き飛ばされ、その後遅く紅葉した木の葉が10月後半で美しく色づきました。

紅葉シーズンも一瞬。11月になると木の葉はすべて落ち、ヒメマツが産卵の為に岸によつてきます。実は中々圧巻の時期なんですよ。そして雪が降り始め、カヌーツアーはお休みとなり、地元氷濤祭りの制作が始まります。何だか1年なんであつという間ですね。